

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—139805

⑤ Int. Cl.³
B 60 C 11/18

識別記号

庁内整理番号
6948—3D

⑬ 公開 昭和58年(1983)8月19日

発明の数 1
審査請求 有

(全 1 頁)

⑭ 砂ゴム液でつくつたタイヤ

⑯ 発明者 有村誠

鹿児島市上本町16番6号

⑰ 特 願 昭57—23467

⑰ 出 願 人 有村誠

⑱ 出 願 昭57(1982)2月15日

鹿児島市上本町16番6号

明 細 書

1. 発明の名称 砂ゴム液でつくつたタイヤ

2. 特許請求の範囲

砂ゴム液(砂とゴム液を混ぜてある)でつくつたタイヤ。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、タイヤがすべらないように表面に微粒の凹凸をつける製造法に関するものである。

従来タイヤには、すべらないように表面にミゾ(溝)がつけてある。しかし、それだけでは十分とはいえない。ミゾのほかにタイヤがすべらない方法がないか考えられている。

タイヤの表面に微粒の凹凸をつけるとザラザラしてすべらないこのことは、知られていた。しかし表面につけた微粒の凹凸がなくなるのが早く、ザラザラの効果は長く続かなかつた。

本発明は、その欠点を除くために考えだされたもので、砂を混ぜたゴム液でつくつた砂ゴムは、表面に微粒の凹凸ができてザラザラするこ

とが知られるようになった。砂を混ぜたゴム液でつくつた砂消しゴムが商品化されている。

このことから、砂を混ぜたゴム液でタイヤをつくつたらタイヤの表面に微粒の凹凸ができてザラザラする。砂を混ぜたゴム液でつくるのでタイヤのゴムの中まで砂がはいっている。

こうしてできたタイヤの表面についている微粒の凹凸は、タイヤを長く使用してもなくならない。ザラザラの効果は長く続く。

砂を混ぜたゴム液は、液体なので、つくるゴムの形は、どんな形でもつくることができる。タイヤの表面にミゾの形と微粒の凹凸を一緒につけることができるので、すべりにくいタイヤができる。

特許出願人 有 村

誠 

PAT-NO: JP358139805A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 58139805 A
TITLE: TIRE MADE OF LIQUID RUBBER MIXED WITH SAND
PUBN-DATE: August 19, 1983

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
ARIMURA, MAKOTO

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
ARIMURA MAKOTO N/A

APPL-NO: JP57023467
APPL-DATE: February 15, 1982

INT-CL (IPC): B60C011/18
US-CL-CURRENT: 524/789

ABSTRACT:

PURPOSE: To lengthen the life of a tire in regard to a nonskid property, by forming roughness on the surface of a tire by finely ground particles, by making a tire of liquid rubber mixed with sand.

CONSTITUTION: Liquid rubber containing sand is prepared by mixing sand into rubber liquid, and a tire is made of the sandy rubber liquid. By this composition, roughness is formed by finely ground particles of sand on the surface of a tire, as well as of tread grooves. The roughness effect on the surface of a tire can last long when the tire is used, and the nonskid effect can be lasted long, because sand is scattered to all over the inner part of a

rubber tire.

COPYRIGHT: (C)1983,JPO&Japio